



# 三重中央だより

当院の理念(Principle) ●いのちの尊さを自覚し、病む人の身になって、安心で質の高い医療を行います。

年頭のご挨拶

## ～ 2024年を振り返って～

三重中央医療センター  
 院長 下村 誠



新年あけましておめでとうございます。元旦に発生した能登半島地震が最近の事のように感じられ、年々時の流れが速くなっていると感じるのは私が年をとったからでしょうか？それとも様々な事件が起こり慌ただしく毎日過ごしてきたからでしょうか？

能登半島地震では400人以上の市民がお亡くなりになり、復興半ばの9月には集中豪雨による風水害に見舞われました。能登の住民の皆様には心よりお見舞い申し上げます。県からの要請を受けて当院からも初めてDMATの災害派遣を経験しました。悪路と悪天候で困難な状況で支援活動を行っていただいたスタッフの皆様には心から感謝申し上げます。8月の台風10号では10年ぶりに内水氾濫が発生し外来および職員駐車場が冠水し地階の発達外来では床上浸水が起きました。災害対策本部を設置し院内の情報収集と職員安否情報システムによる情報発信を行いました。11月には停電が発生し画像診断装置や血液検査などが一時使えなくなり診療に支障がでました。このように震災以外にも様々な災害が起こりリスクマネジメントが求められた1年でした。

昨年は様々な改装工事を行いました。4月には待望の新救急外来棟がオープンしました。広く

なった初療室で多くの患者を受け入れることが可能となり、棟内のCTやレントゲン装置を用いて効率的に診療ができる環境が整いました。5月には入院支援室をエントランス内に設置しました。今年度から医師の働き方改革が施行されましたが、入院支援室では入院が決まった患者に入院前から治療の説明や内服薬の確認、費用や利用できる介護制度の説明など看護師や薬剤師、社会福祉士、管理栄養士など様々なスタッフがチームで患者を支援する体制を整備しました。11月には外来化学療法センターを開設しました。薬の調剤室や服薬指導を行う面談室、口腔ケアを行う歯科診療室も隣接しており機能的に治療を受けていただけるようになりました。患者が新しく快適な環境で治療を受けていただく姿を見て本当に良かったと実感しております。

医療の質の面でも2つの認定を受けました。1つ目は卒後臨床研修評価機構(通称JCEP)の認定を受けました。医師は最初の2年間、患者を総合的に診療する能力を身につけるため各診療科を



ローテーションし修練します。当院は卒後臨床研修病院であり、現在14名の初期臨床研修医が研修を受けています。来年度も新たに10名の研修医が入職する予定ですが、今回のJCEPの認定でますます当院での研修を希望する学生が増えることでしょう。

二つ目は三重県から女性が働きやすい医療機関に認定されました。看護師はもとより医師も最近では女性の比率が高くなり、院内保育や産休育休などの労務体制が整った働きやすい環境の整備が求められています。昨今、若者の人口が減少し看護師や薬剤師など医療職の確保が難しい時代になっています。今回、女性が働きやすい医療機関の認

定を受け若い医療職から選ばれる病院となるよう努力していきたいと考えています。

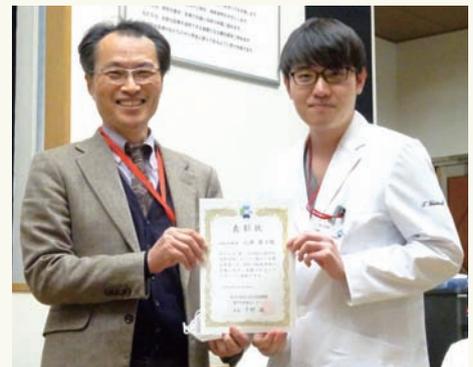
2025年は巳年です。蛇は脱皮を繰り返し成長することから、これまでの学びや努力が実を結ぶ年だといわれています。医療情勢は年々厳しさがまっていますが、地域の皆様にとって今年1年が実り多き年となりますよう願わずにはられません。引き続き真に地域から選ばれる病院となるよう職員一同頑張っていく所存ですので住民の皆様、地域の医療機関、消防や行政、医師会の皆様には引き続きご支援とご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



## 国病学会表彰者の紹介

### 山路 隆斗

この度、第78回国立病院総合医学会にてベスト口演賞をいただき、大変喜しく思います。日頃からご指導くださる先生方や暖かく支えてくださる周囲の方々のおかげで受賞いただくことができました。いつもありがとうございます。日常の診療では多くの疑問や課題を感じることがありますが、私にとって学会発表はそのような疑問の解決を模索する機会であり、今後のより良い治療を目指す大切な経験です。この受賞を励みに今後も研鑽を重ねて、患者さんに最善の医療を提供できる様に精進していきたいと思ひます。



### 中村 めぐみ

この度、第78回国立病院総合医学会において「アドバンス・ケア・プランニングに基づき、患者と家族の希望を地域と共に支える」という演題で発表致しました。アドバンス・ケア・プランニングは『人生会議』とも言われており、その人が最期の時までその人らしく生きるための準備として、厚生労働省からも勧められています。

今回、病院内だけでなく、地域で活動される医療福祉従事者の方々と連携・協力し、患者様、ご家族のご希望の実現ができました。これからも、関わった患者様、ご家族のご希望・想いを医療の立場から支えられるように従事していきたいと思っております。大切な時間を共に過ごさせていただきました、患者様とご家族に感謝致します。



## 文化祭開催報告

### ファインダー越しの職場 ～ミエチュウオウ文化祭 後記～

循環器内科 新谷 卓也



「写真を撮ってください」

病院内あらゆる部署に「写ルンです」を配りました。昭和時代に一世風靡したアレです。

スマホやデジカメで育った世代には扱いが難しかったようで、味のある「エモい」写真がたくさん集まりました。写真たちはエントランスホール、エスカレーター前にハート型で皆さまをお迎えしました。

カメラを向けると、逃げ隠れする人、苦笑いでピースする人、全力でちょける人、自然を装おうとする

明らかに不自然な人。普段とは違うスタッフの素の姿が見れたのではないかと期待しています。

いつもは怖くてツンとした先輩が実はめちゃくちゃお茶目だったり、厳格で気難しい部長がただのニヤけたオッサンだったり。カメラのファインダーを覗くと切り取られる、いつもとは違った景色。先入観や肩書といった「日常フィルター」を通してしか世界を観ていなかったことに気付かされます。

医療はチームプレーです。「日常フィルター」を外す練習をすれば、手強いディフェンスを前に、怖い先輩や気難しい部長にもパスを出しやすくなるのではないかと。

そんな思いで、今年もミエチュウオウ文化祭を監修させていただきました。

先述の「写ルンです」作戦は、今年のポスターイメージも担当した写真班のスタッフの素敵なアイデアです。ちなみにポスターモデルもテーマである「Piece-笑顔のピースを集めて繋げよう-」の文字アートもすべて当院スタッフです。

メインの市民公開講座では座長自ら街宣ロボとして、ゆるキャラの如く会場内を闊歩しました。全4講演お聞きいただきました。

ステージでは、お世話になっている津消防の音楽隊による華やかな演奏に始まり、地元のチアダンスチームの元気な演舞、当院職員のご家族が所属するフラダンスチームのパフォーマンスに心安らぎました。お馴染みとなった職員ユニットOmen'sは地元白山のビッグバンドとジョイント公演で、会場をのびやかな歌声で包みました。

大人気のひさい緑の風マルシェは会場内外で店舗を展開していただき、大勢の来場者にお越しただけました。

2014年に始まったこの手作りイベントもはや10年。いろんなコンセプトで企画してきましたが、行き着いた先は「スタッフが輝く時間の提供」でした。「日常フィルター」を外し、昭和風というと「同僚以上家族未満」、スタバをパクれば、「第3の人間関係」で、平時の医療においてもチームワークを磨く仕掛けの一つとして、今後もミエチュウオウ文化祭があり続けていければいいなあとおもいます。



## BFH 赤ちゃんに優しい病院

### ～信頼される母子センターを目指して～

総合周産期母子医療センター部長 山口 恭 平  
東4病棟看護師長 藤 原 京 子

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひします。

当院は2003年に総合周産期母子医療センターに認定され、MFICU（母体・胎児集中治療室）およびNICU（新生児集中治療室）を備えた24時間体制で、合併症妊娠や切迫早産などリスクの高い妊娠から新生児期まで一貫して質の高いケアを提供しています。

2001年にはWHOとUNICEFから「赤ちゃんにやさしい病院（BFH）」に認定されました。これは母乳育児を支援する施設としての評価を受けたもので、当院は三重県で唯一の認定病院です。母乳育児の推進として、妊娠中からの両親学級を通じ、母乳の出る仕組みや授乳方法を伝えています。さらに、お母さんと赤ちゃんの健康状態を観察しつつ、必要時にのみ人工乳を使用しています。

母乳は感染予防、生活習慣病の予防、精神運動発達への寄与など多岐にわたり赤ちゃんの成長を支えます。当院では24時間母子同室を実施し、助産師が個々のペースに合わせて授乳をサポートします。母子同室は、お母さんが早期から赤ちゃんとお過ごしことで育児への自信を深め、母乳育児の成功率を高める環境を提供します。

退院後も乳児健診や母乳外来を通じて体重チェックや授乳相談、乳房トラブルへの対応など、卒乳までの長期的なサポートを行っており、母乳育児を安心して楽しんでいただける体制を整えています。

さらに、当院は院内助産システム「ゆりかご」を導入し、ローリスク妊婦を対象に満足度の高いケアを提供しています。フリースタイル分娩やヨガ、食事指導などを通じて「赤ちゃんの生まれる力、お母さんの産む力」を最大限に引き出します。利用者からは「夫婦で協力できた素晴らしいお産だった」など、多くの喜びの声をいただいています。

院内助産「ゆりかご」は2013年に開始し、約300件の実績を迎えました。安全かつ安心なお産を提供するため、医師と助産師が協力しながら、ひとりひとりに寄り添ったケアを心がけています。私たち東4病棟スタッフ一同は、すべての人に笑顔をお届けられるよう、日々努力を重ねています。



## 三重県立看護大学との連携協力に関する 協定を締結しました！

看護部長 酒井 陽子



2024年10月31日に、三重県立看護大学との連携協力協定締結式が行われました。

三重県立看護大学の実習においては、周産期の実習に加え、来年度から周手術期ケアの実習を受け入れることが決定しました。この良きタイミングで、県内で14番目の連携病院になることができました。片田典子学長から、「相互に連携し、臨床能力に優れた質の高

い看護職の育成に共に取り組んでいきたい。」とのお言葉をいただき、改めて気持ちが引き締まりました。

当院の看護師は、医療の進歩や人々のニーズの多様化から、看護の喜び以上に、困難さを体験しているようにも感じます。看護の専門職として、臨床を経験してからの新たな学びや、学びなおしの機会は、キャリア開発には大切な栄養であり、人としても深まるチャンスになると考えます。また、三重県立看護大学の学生の皆様には、当院の医療や看護、患者さんの実際の声を通じて、職業人としての自分をリアルにイメージし、看護や助産の道を歩み始めてほしいと願います。学生からの気づきやフィードバックが、日常の看護の見直しにつながることも多く、指導者と学生との対話も大切にしていきたいと思ひます。

今回の連携協定を機会に、ますます三重県立看護大学とは、良い影響を与え合える関係を築き、地域や現代の医療に求められる人材育成や、研究活動に取り組んでいきます。そして、看護の質を高めるためにどうしたらよいのかを、仲間と共に相談できる環境を整え、自分達の看護チームに自信が持てるように、支援し続けたいと思ひます。

## 赴任された先生方

※診療科順

### 消化器内科 久田 拓央

はじめまして。10月より消化器科に赴任した久田拓央（ひさだひろひさ）と申します。2014年に関西医科大学を卒業後、初期研修から伊勢赤十字病院で勤務し、11年ぶりに地元である津市に戻って参りました。

趣味は旅行と食べ歩きです。地元ではありますが、高校生までしか住んでいないため美味しいご飯屋さんなどあれば教えて（誘って）いただけると嬉しいです。目が細く垂れているためか常に眠そうに・寝ている見えるようですが、起きていますので気軽に声をかけてください。

赴任して2ヶ月経ち、ようやくカルテに慣れてはきましたがまだまだわからないことが多いですが、誠心誠意努めて参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



### 消化器外科 草深 智樹

2024年10月から赴任となりました、草深と申します。約10年前、駆け出しの外科医の頃にこの病院にお世話になり、外科手術の修練を開始しました。その時の外科先輩方の指導のおかげで、外科医としての基礎能力が付き、現在に至ります。現在は、救急外来も新しく新設されて非常に診察しやすい環境が整っていると思います。今後は後輩の指導はもちろんのこと、自身の技術向上に向けて努力していく次第です。宜しくお願いします。



### 消化器外科 水上 拓哉

この10月より消化器外科に赴任しました水上拓哉と申します。

2024年3月までの2年間で三重中央医療センターでお世話になり、三重大学病院での半年間の勤務を経て、この10月から再度当院で勤務することになりました。大学病院では肝臓、胆嚢、膵臓疾患を中心に診療を行ってまいりました。当院に戻ると皆様から歓迎していただき、とても嬉しく思っております。今まで同様に誠心誠意取り組んで参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



### 小児科 坂本 花菜

地域の皆様には、いつも大変お世話になっております。2024年7月より一般小児科病棟、11月より新生児集中治療室（NICU）に赴任しております小児科医の坂本 花菜です。大人になった今、私が生まれ育った地域で、子ども達が健やかに育つお手伝いができることに喜びを感じています。中には、大人になったら一緒に働く！と嬉しいことを言ってくれる子もいて、私の元気の源です。新しい家族の小さな手を握ってNICUを退院される嬉しそうなご家族の姿は私の活力です。彼らに誇れるよう精一杯尽力いたしますので、これからもよろしくお願いいたします。



新設

## 外来化学療法センターがオープンしました!

がん薬物療法看護認定看護師 宮崎 紘子



昨年11月に、旧西2階病棟に外来化学療法センターが移設しました。外来化学療法センターでは通院でがん薬物療法を受ける患者さまを対象に、抗がん薬の注射・点滴治療を提供しています。ベッド数は、外来化学療法室①11床、外来化学療法室②6床の計17床に増設いたしました。移設前の外来化学療法室はお手洗いが遠く、患者さまには大変ご不便をおかけしましたが、新しいフロア内にはお手洗いを完備しております。また、治療室の隣に抗がん薬調製室を配置し、スムーズな薬剤提供も可能になりました。移設前と比較し、広く、明るい場所で、点滴開始までの待ち時間も大幅に短縮することが

できるようになり、患者さまにもご好評いただいております。

外来化学療法センターでは、がん薬物療法を受ける患者さまをチームで支援しています。抗がん薬投与に関する院内認定を受けた看護師を配置し、治療を受ける患者さまに寄り添い、安全、快適に治療を受けていただくことができるよう努めています。抗がん薬の専門的知識をもった薬剤師が常駐し、抗がん薬による治療を受けるすべての患者さまに薬剤指導を行います。また、薬-薬連携といたしまして、当院の薬剤師が院外の保険薬局の薬剤師と連携し情報共有することで、より手厚い支援ができるよう取り組んでいます。管理栄養士は、がん治療中の食事のサポートを担います。外来化学療法センターで治療を受ける患者さまは、点滴中の時間を利用して気軽に栄養士に相談していただくことができます。

三重中央医療センターには、がん薬物療法看護を専門とする看護師が3名在籍しております。フロア内には相談室を設け、がん看護相談を実施しています。がん診療は進歩を続け、一人一人に適した治療を行う「個別化治療」の時代になりました。「どの治療を選択するのか」「治療にはどんな副作用があるのか」など、がん治療に関しての疑問や質問のある方は、お気軽にご相談ください。



がん看護相談の様子



ケモ室看護師

「里山こころの便りー柵原の窓から」

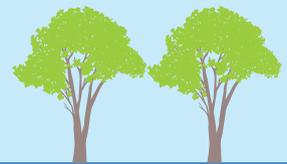
うつ病の予防

健康的な生活習慣を構築し環境を整えることが、うつ病の予防につながります。まず、生活習慣の改善はうつ病リスクを低減する基本的なステップです。不健康な食生活やエネルギーの過剰摂取は肥満や糖尿病と関連し、これらの身体疾患がうつ病の要因となる可能性があります。また、喫煙やアルコールの乱用は、うつ病の発症リスクを高めることが知られています。さらに、座りがちなライフスタイルによる運動不足は、抑うつ症状を悪化させる大きな要因です。これらの習慣を見直すことが、うつ病の予防および身体的健康の向上にもつながります。また、グループでの運動やスポーツを通じて社会的つながりを築くことで、孤立感を和らげ、精神的サポートを得る機会がもたらされます。さらに、食生活の改善も重要です。欧米の研究では、地中海式の食事（野菜や果物、魚、オリーブオイルを中心としたバランスの取れた食事）がうつ病予防に有効という報告があります。また、オメガ3脂肪酸やビタミンB群、葉酸などの栄養素がうつ病予防に寄与する可能性があります。



柵原病院 院長  
鬼塚俊明

以上のように、うつ病の予防には、生活習慣の改善、適度な運動、食生活の見直しを中心とした統合的なアプローチが重要です。



「クローバー友の会」 会員募集

「クローバー友の会」は地域の皆様と病院が、様々な病気・医療の学習を通して理解を深め合う会として発足しました。賛同いただける方はぜひ会員登録をお願いいたします。登録は無料です。会員には当院から健康に関する様々な情報をお届けします。受付でお声かけください。登録と同時に会員証をお渡しいたします。

たくさん勉強していただいた方には素敵なプレゼントがあります。

記入いただいた個人情報は本会の業務以外には使用せず、安全かつ適切に管理いたします。

三重中央医療センター 地域医療連携室

設立の経緯  
三重中央医療センター  
クローバー友の会事務局

〒514-1101 三重県津市久居明神町2158-5  
TEL. 059-259-1211 内  
地域医療連携室

三重中央医療センター クローバー友の会

会員にご登録いただきありがとうございます。  
講演会に参加いただくごとに1スタンプ印刷いたします。  
(スタンプ数による特典は別途公表いたします。特典は変わる場合があります。)

■会員名  
住所 \_\_\_\_\_  
氏名 \_\_\_\_\_  
電話 \_\_\_\_\_

1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15
16	17	18	19	20

編集  
後記

新年あけましておめでとうございます。  
2025年の干支は、乙巳（きのとみ）です。乙（きのと）は、十干の2番目で「木」の要素を持ち、草木がしなやかに伸びる様子や横へと広がっていく意味を持ちます。また巳（みへび）は、神様の使いとして大切にされてきた動物で、脱皮を繰り返すことから不老不死のシンボルともされています。  
そのため乙巳（きのとみ）の年は、「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく」年になるとも言われています。  
今年1年が皆様にとりましても良い年になりますように。 (M)

発行所

三重中央医療センター  
院長 下村 誠  
三重県津市久居明神町2158番地5  
TEL. 059-259-1211  
<https://miechuo.hosp.go.jp>

三重中央医療センター

**インスタはじめました**

病院イベント、スタッフの日常、医学情報の日常などを発信します(^@^)

三重中央医療センター【公式】  
アカウント：miechuomc

# ●●● 三重中央医療センター連携医療機関紹介 ●●●●●●●

## い こ か 内 科

ホームページ：<https://ikoka-naika.com/>



2024年5月、津市城山の三十三銀行のある交差点を海側に左折した場所に、開業いたしました。常勤医師2名体制で、外来診療、訪問診療に対応できるようにしております。外来診療では、糖尿病治療（インスリンポンプは現在対応外です）、甲状腺疾患に専門性を持っております。訪問診療では、悪性腫瘍の在宅緩和

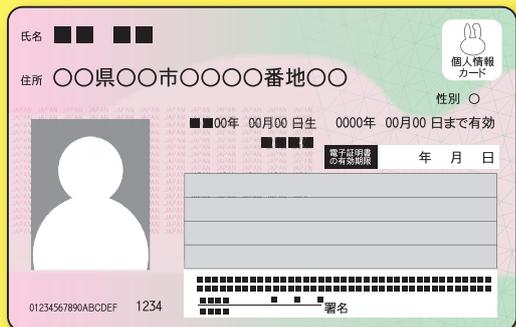
ケアを含めて、地域の医療福祉関連の多職種の方々と協力した質の高い在宅医療を目指しております。三重中央医療センターと連携して、治療、支援を行うことで、患者さんの生活の質をより高くできるように尽力してまいりますので、よろしくお願いいたします。

院長：金児 竜太郎  
 副院長：白倉 由隆  
 住所：〒514-0818 三重県津市城山1丁目17番17号  
 電話： FAX：  
 診療科目：糖尿病内科・緩和ケア内科・内科  
 休診日：土曜日・日曜日・祝祭日

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9：00～12：00	○	○	○	○	○	△	△
13：00～17：00	●	●	●	●	●	△	△

○：外来診療（予約制ではありません） ●：訪問診療

**当院では厚生労働省所管の医療機関として、マイナンバーカードを健康保険証として利用することを推奨しております**  
**保険証確認の際にはマイナンバーカードの提示をお願いします**





# 外来診療担当表

●初診及び予約のない再診の方の受付時間は8:30~11:00までです。  
 ●医師の人事異動・出張等により臨時に代診(林診)となる場合があります。

2025.1.1 現在

診療科名等		月	火	水	木	金	
初診内科 (初診・予約外)	1診	井端 英憲【呼】	内藤 雅大【呼】	田中 淳子【循】	川崎 敦【循】	後藤 浩之【糖】	
	2診	新谷 卓也【循】	福岡 秀介【循】	井田 紗矢香【糖】	野田 悠介【消】	村上 弘明【循】	
	3診	田口 由紀子【消】	倉田 一成【消】	宮田 徹也【消】	渡邊 典子【消】	葛原 正樹【消】	
	4診	久留 仁【呼】	宗吉 佑樹【糖】	坂倉 康正【呼】	西村 正【呼】	岩中 宗一【呼】	
再診内科 (再診予約のみ)	呼吸器内科	5診			井端 英憲(午後再診)		
		6診		井端 英憲	井端 英憲	午前 内藤 雅大【呼】 午後 杉谷 直大【糖】	垂見 啓俊【呼】
	(整形1診) (脳外2診)		岩中 宗一	藤本 源			
	循環器内科	5診	田中 淳子	川崎 敦		村上 弘明(午前再診)	福岡 秀介
	消化器内科	7診	葛原 正樹	宮田 徹也	渡邊 典子		倉田 一成
	内科	8診	岡崎 貴大【循】	新谷 卓也【循】	後藤 浩之【糖】	井田 紗矢香【糖】	新谷 卓也【循】
		9診	後藤 浩之【糖】	田中 剛史【糖】	田中 剛史【糖】	田中 剛史(初診)【糖】	田中 剛史【糖】
		10診	坂倉 康正【呼】	井田 紗矢香(1,3週) 後藤 浩之(2,4週)【糖】	内藤 雅大【呼】	三重大学医師【糖】	岡野 智仁【呼】
		(泌尿器1診) (泌尿器2診) (整形2診)	宗吉 佑樹【糖】 久田 拓央【消】				
				西村 正【呼】			
		腎臓内科(内科6診)	村田 智博				
	肝臓内科(内科5診) (整形3診)			吉川 恭子(1,3週)【消】			
	ペースメーカーチェック(14ブロック)	ペースメーカーチェック(毎月第1月曜日午後)			吉川 恭子【消】		
脳神経内科	1診	北川 長生	北川 長生	北川 長生	有川 茂雄	林 理絵	
	2診	大内 智洋	有川 茂雄	林 理絵	大内 智洋	吉丸 公子	
	心外 呼外			松岡 知也	松岡 知也		
小児科・新生児科 (初診・再来初診は紹介のみ) (初診以外は完全予約制)	午前	1診	井戸 正流(初診)	櫻井 直人(初診)	井戸 正流(初診)	田中 滋己	田中 滋己(初診)
		2診	小川 昌宏	小川 昌宏	内菌 広匡(2,4週) フォローアップ健診	内菌 広匡	大槻 祥一郎
		3診	田中 滋己	親子支援	代診	小川 昌宏	北村 創矢(予約)
		4診(発達外来)	杉野 典子		杉野 典子	杉野 典子	
	午後	1診	小児科医師	2週間・1ヶ月健診	内菌 広匡	田中 滋己(1,3,5週) 櫻井 直人(2,4週)	大森 あゆ美(1,3,5週) 佐々木 直哉(2,4週)
		2診	小児神経外来 内菌 広匡(2,4,5週)		佐々木 直哉(1,3,5週)	内菌 広匡(1,3,5週)	成長外来
	3診	小川 昌宏(1,3週)	NICU連携 心工コー外来(1,3週)	小川 昌宏		シナジス外来	
	4診(発達外来)	杉野 典子		杉野 典子	杉野 典子		
消化器外科	1診(初診)	湯浅 浩行	代診	草深 智樹	信岡 祐	林 泰三	
	2診(予約)	信岡 祐	下村 誠	水上 拓哉	山路 隆斗	湯浅 浩行	
緩和ケア外来(予約・紹介のみ)						安達 勝利	
乳腺外科(予約のみ)	外科2診					木本 真緒	
整形外科 (紹介のみ)	1診	田中 雅		高北 久嗣		田中 雅	
	2診	高北 久嗣		山口 敏郎		山口 敏郎	
	3診	前田 ひづき		前田 ひづき			
形成外科	呼外1診	三重大【形成】					
脳神経外科	1診(初診)	石田 藤麿	岸本 智之	池澤 宗成	深澤 恵児	山本 陽子	
	2診(予約)		石田 藤麿		池澤 宗成(午前)	深澤 恵児	
脊椎・脊髄外科 (予約・紹介のみ)	脳外2診				池澤 宗成(午後) (初診及び再診は13:00~15:00)		
呼吸器外科	1診		午前:安達 勝利 午後:渡邊 文亮		渡邊 文亮	安達 勝利	
心臓血管外科		浦田 康久		佐藤 友昭		日置 巖雄	
皮膚科(初診は紹介状のみ・完全予約制)		中西 朝子	三重大学医師	中西 朝子	三重大学医師	中西 朝子	
泌尿器科	1診		長谷川 嘉弘(初診)	加藤 雅史(初診)	長谷川 嘉弘(初診)	長谷川 嘉弘	
	2診		荒瀬 栄樹	手術日	荒瀬 栄樹	荒瀬 栄樹	
	整形3診(火・金曜日) 整形1診(木曜日)		服部 優奈		服部 優奈	服部 優奈(初診)	
産科・婦人科	午前	1診(初診)	榊原 光太	山口 恭平	榊本 尚助	村瀬 結香	下村 優莉奈
		2診(婦人科再診)	北村 亜紗	高橋 和哉	榊原 光太	榊原 光太	北村 亜紗
		3診(産科再診)	榊本 尚助		村瀬 結香	吉村 公一	
		4診(助産師外来)	毎日、完全予約制(担当は交代制)				
	午後	1診(産科再診)	榊原 光太	山口 恭平	榊本 尚助	村瀬 結香	下村 優莉奈
		2診(婦人科再診)	北村 亜紗	高橋 和哉	榊原 光太	榊原 光太	北村 亜紗
	3診	榊本 尚助	産後一ヶ月健診	村瀬 結香	吉村 公一		
	4診	毎日、完全予約制(担当は交代制)					
眼	科	前田 聡	前田 聡	前田 聡	三重大学医師	前田 聡	
耳鼻咽喉科	午前(初診)		西田 幸平/乙田 愛美	伊藤 由紀子	西田 幸平/乙田 愛美	西田 幸平	
	午前(再診予約のみ)	伊藤 由紀子	西田 幸平/乙田 愛美		西田 幸平/乙田 愛美	伊藤 由紀子/西田 幸平	
放射線科	画像診断	初瀬 耕	初瀬 耕	初瀬 耕	初瀬 耕	初瀬 耕	
	放射線治療(事前予約のみ)	午前 午後	二見 友幸		二見 友幸		
歯科・歯科口腔外科	午前	柳瀬 成章/ 若林 宏紀/加納 慶子		柳瀬 成章/ 若林 宏紀/加納 慶子	柳瀬 成章/ 若林 宏紀/加納 慶子		
	午後	柳瀬 成章/ 若林 宏紀/加納 慶子	柳瀬 成章/三重大歯科医	柳瀬 成章/ 若林 宏紀/加納 慶子	若林 宏紀/加納 慶子	柳瀬 成章/若林 宏紀	
看護外来(予約のみ)		第1月曜日 透析予防外来 がん看護相談外来	第2・3火曜日 透析予防外来 がん看護相談外来	糖尿病外来	ストーマ外来	フットケア外来 がん看護相談外来	

不整脈専門外来	形成外科外来	いびき・無呼吸検査	タバコ障害・COPD精査	ものわずれ外来	未破裂脳動脈瘤の相談	水頭症外来
月・火曜日 午前診療	月曜日 午前診療	月曜日 午前診療	月・火・水・木・金曜日 午前診療	金曜日	月曜日 午後診療	木曜日 午前診療
循環器内科(新谷)	形成外科(細見)	呼吸器内科	呼吸器内科	脳神経内科(吉丸)	脳神経外科(石田)	脳神経外科(深澤)
脊椎・脊髄外科専門	肺癌・良性肺腫瘍・気胸・縦隔腫瘍・臍胸	助産師外来	おっぱい外来(予約)	乳腺外科(新谷)	膠原病内科	
木曜日(13時~15時) (要予約・紹介)	火・木・金曜日 午前診療	月・水・木・金曜日 午前午後診療 火曜日 午前診療	火曜日 午後診療	金曜日 午後診療	木曜日	
脊椎・脊髄外科(池澤)	呼吸器外科	産科		乳腺外科(木本)	三重大学医師(杉谷)	